

令和6年11月6日

## より安全な大会運営を目指して

(一社) 富山県ソフトボール協会

(一社) 富山県ソフトボール協会(以下当協会)は、開催会場の場所に関わらず以下について留意し、観戦者もプレーヤーも楽しく安全な大会になるよう大会運営に最大限努力する。

なお、以下の内容について、県協会関係者全員の周知徹底とともに、大会会場では競技委員長や専門委員長が先頭に立って、状況の把握、周囲への指示、関係機関への連絡等を行う。

### 1 観客に対して

#### (1) 放送等を利用して

- ・試合中、球場フェンスを越えてファールボール等が観客席に届く可能性がある場合は、試合前にその旨をアナウンスし、ファールボール等に十分留意するよう注意を促す。
- ・試合中、球場フェンスを越えてファールボール等が観客席に飛んだ場合は、タイムリーに放送でその危険をアナウンスするとともに、補助員が持つホイッスルを鳴らし注意を促す。
- ・高い気温による熱中症対策や新型コロナウイルスの対応に、放送では随時その注意喚起を行う。

#### (2) 観客が試合に関係する事(ファールボール等)で怪我や擦り傷等、また、熱中症等の症状を訴えた場合。

- ・その怪我等に気づいた人はその状態を確認するとともに丁寧に謝る。また、その事を競技委員長(専門委員長)に至急伝え、責任者は再度状況を確認するとともに丁寧に謝る。熱中症等の場合は、影で休んでもらったり、冷房のある部屋に移動してもらったりし、万全の対応を行う。

### 2 選手・チームスタッフや役員・審判等大会関係者に対して

#### (1) 試合前

- ・準備運動等を念入りに行う事を助言する。

#### (2) 怪我や熱中症等があった場合

- ・試合中を含め大会会場にて怪我があった場合は、応急措置を行う。大会に看護師等が詰めている場合は、至急連絡を取り対応を依頼する。また、大きな怪我や熱中症の疑いがある場合は救急車の要請を躊躇しない。なお、救急車を要請した場合は、その受け入れに要員を指示しスムーズな現場到着

に協力する。

- ・骨折等大きな怪我が疑われる場合は、事故対応を医療関係者に頼ることにし、素人の判断で対応しない。
- ・救急車に同乗する人やその他の対応にチーム関係者と連携を密にする。

### 3 救急車を要請した場合

#### (1) 競技委員長か専門委員長は状況を把握する。

- ・日時
- ・事故発生場所
- ・氏名、性別、年齢、住所、電話番号、チーム名
- ・事故の発生状況
- ・搬送病院名
- ・県協会の瑕疵

#### (2) 状況によっては本人の家族等に連絡する。

#### (3) 事務局長に電話報告をする。

#### (4) 別紙（様式1）に記入し、事務局長に送付する。

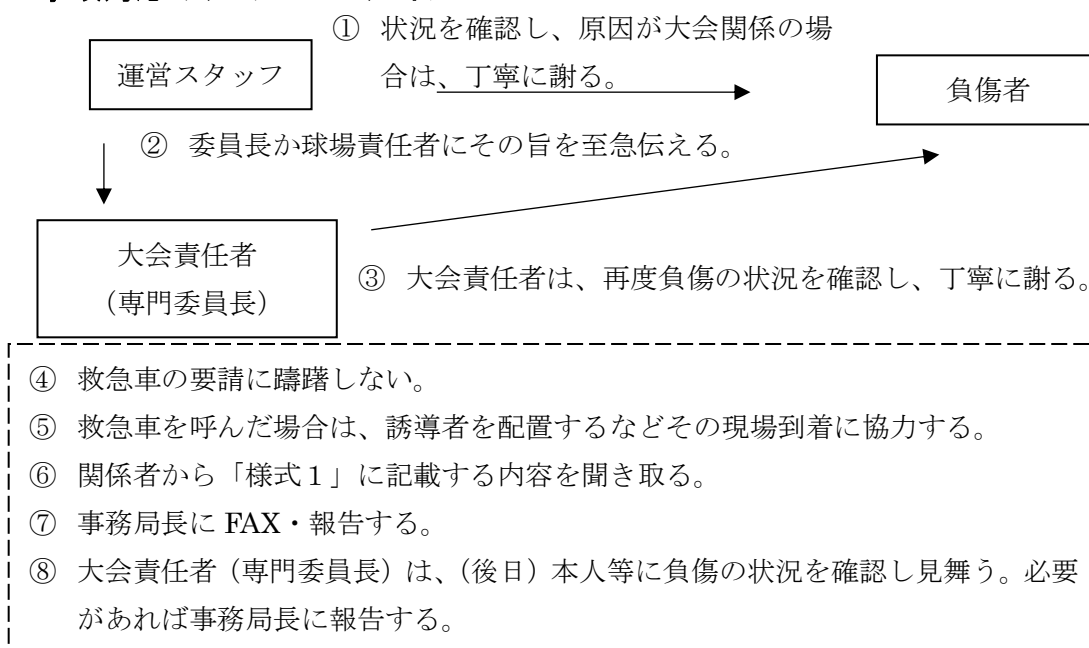
※事務局長は連絡があり次第理事長に連絡する。

#### (5) 競技委員長か専門委員長は、後日当該者にお見舞いの連絡をする。

〈備考〉 県内で開催する県大会には、保険加入はしていない。

（観客、選手、審判、記録、役員等全員：何かあった場合は個人が加入する保険で対応する事になる。）

### 4 事故対応のシミュレーション



様式 1

通報（警察、救急、消防）記録簿

作成者役職・氏名 \_\_\_\_\_

電話番号 \_\_\_\_\_

※事務局長に FAX する。

出動要請日時	令和 年 月 日 ( ) 時 分	時刻	
出動要請区分	警察 救急 消防 搬送先病院名	要請者	
当事者 (負傷者)	氏名 (ふりがな)	性別 男・女	年齢 才
	住所	TEL	
事故発生場所	詳細に記載	関係者 (チーム名)	
事故の詳細 (箇条書きで時系列に)			
処理・対応			
県協会の瑕疵			

